NO.

007

社会 食品ロス

Food That Never Reaches a Plate

食卓にたどり着かない食べ物——食品ロス

英文の音声

レベル ★☆☆ 標準 | 299語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Every day, perfectly good food is ❶**thrown away** around the world. According to UN estimates, roughly a third of all food produced is lost or wasted. In Japan alone, food that could still have been eaten ❷**amounts to** millions of tons a year, ❸**not to mention** the water, energy, and labor that went into producing it.

2 Who ❹**is to blame**? It is easy to point at restaurants and supermarkets, and they are certainly responsible for some of it. Stores often remove products from their shelves long before they go bad, simply to keep them looking fresh. Yet about half of Japan's food loss comes from ordinary homes. Many of us buy more than we need, forget what is in the refrigerator, and ❺**have no idea** how much we throw out each week.

3 One common cause is confusion about dates. In Japan, the 'best-before' date shows when food tastes best, while the 'use-by' date shows when it may no longer be safe. Many people treat these as the same thing and throw food out as soon as the first date passes. ❻**As a result**, they ❼**waste money on** food that is never eaten.

4 There are simple ways to do better. Before going shopping, ❽**have a look at** what is already in your kitchen. Some families use apps to ❾**keep track of** what they have bought. Leftovers can be ❿**set aside** for the next day's lunch. Food that you cannot use can be ⓫**given away** to neighbors or ⓬**dropped off** at a food bank, which delivers it to people in need.

5 Some supermarkets now sell items near their dates at a discount, and customers who ⓭**stop by** in the evening can pick up a bargain. Small changes like these, repeated in millions of homes and shops, can make a real difference.

語注 **estimate** 推計・見積もり **labor** 労働 **best-before date** 賞味期限 **use-by date** 消費期限
food bank フードバンク（余った食品を集め、必要な人に配る団体）

この英文の熟語 IDIOMS 13個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 throw away ~ ～を捨てる □□□

＝ discard / get rid of。away は「遠くへ」。throw A away の語順も可。「（機会などを）むだにする」の意味もある（throw away a chance）。 例 *Don't throw away the box; we can reuse it.* その箱は捨てないで。また使えるから。

2 amount to ~ 合計～になる □□□

数量が「合計～に達する」（＝ add up to）のほか、「結局～に等しい」（His words amount to a refusal.）の意味もある。名詞 amount（量）とつなげて覚える。 例 *The cost of the repairs amounted to 50,000 yen.* 修理費は合計 5 万円になった。

3 not to mention ~ ～は言うまでもなく □□□

＝ to say nothing of ~ / not to speak of ~。プラスの情報を付け足す。let alone ~（～は言うまでもなく〈否定文の後で〉）は否定の文脈で使う点が違う。 例 *She speaks French and German, not to mention English.* 彼女は英語は言うまでもなく、フランス語とドイツ語も話す。

4 be to blame 責任がある □□□

形は能動の to blame だが意味は「責められるべきだ」。be to blame for ~（～の責任がある）。Who is to blame? は決まり文句。 例 *The driver was to blame for the accident.* その事故の責任は運転手にあった。

5 have no idea まったく分からない □□□

＝ don't know at all。後ろに疑問詞節（have no idea what/how ~）が続くことが多い。I have no idea. は会話でも頻出。 例 *I have no idea where I left my keys.* 鍵をどこに置いたのかまったく分からない。

6 as a result その結果 □□□

前の文の「結果」を導くつなぎ言葉。＝ consequently / therefore。as a result of ~（～の結果として）は後ろに名詞を置く形で、区別が問われる。 例 *He didn't study at all. As a result, he failed the exam.* 彼はまったく勉強しなかった。その結果、試験に落ちた。

7 waste A on B A を B に浪費する □□□

on は「対象」。spend A on B（A を B に使う）の「浪費版」。waste time ～ing（～して時間をむだにする）の形も頻出。 例 *Don't waste your money on things you don't need.* 必要のない物にお金を浪費してはいけない。

8 have a look at ~ ～をちょっと見る □□□

＝ take a look at ~ / look at ~。名詞 look を使うと「ちょっと・一度」の感じが出る。Let me have a look.（ちょっと見せて）は会話の定番。 例 *Could you have a look at my essay?* 私の作文をちょっと見てもらえますか。

9 keep track of ~ ～の経過を追う □□□

track は「足跡・記録」。変化するものを見失わないように記録・把握し続ける。反対は lose track of ~（～が分からなくなる）。 例 *It's hard to keep track of all my passwords.* 自分のパスワードを全部把握しておくのは大変だ。

10 set aside ~ ～を取っておく □□□

＝ put aside / save。お金・時間・物をある目的のために「別にしておく」。「（意見の違いなどを）わきに置く・無視する」の意味もある。 例 *She sets aside some money every month for travel.* 彼女は毎月旅行のためにお金を取っておく。

11 give away ~ ～をただでやる □□□

away は「手元から離れて」。無料で配る・寄付する。「（秘密を）漏らす」の意味もある（give away a secret）。giveaway は名詞で「景品」。 例 *He gave away all his old books to the library.* 彼は古い本を全部図書館に寄付した。

12 drop off （人・物）を車から降ろす・届ける □□□

drop A off（at 場所）で「A を（場所に）降ろす・置いていく」。pick up（迎えに行く・拾う）と対で覚える。自動詞では「うとうとする」「減る」の意味も。 例 *Could you drop me off at the station?* 駅で降ろしてもらえますか。

13 stop by (~) （～に）立ち寄る □□□

＝ drop by / drop in / call at。何かのついでに短時間寄る。stop by my office のように場所を目的語にとることも、副詞的に単独で使うこともできる。 例 *Stop by anytime you're in the neighborhood.* 近くに来たときはいつでも寄ってね。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第 2 段落によると、日本の食品ロスについて正しいものはどれか。

① ほとんどすべてが飲食店から出ている
② スーパーは商品が傷むまで棚に置いている
③ 家庭は食品ロスとほとんど関係がない
④ およそ半分は普通の家庭から出ている

問2 第 3 段落で述べられている、食べ物を捨ててしまう原因はどれか。

① 賞味期限と消費期限を同じものだと考えてしまうこと
② 消費期限が過ぎた食べ物を食べて体を壊すこと
③ 食べ物の値段が高すぎること
④ 冷蔵庫が小さすぎること

問3 本文で食品ロスを減らす方法として挙げられていないものはどれか。

① 買い物の前に台所にある物を確認する
② 使えない食べ物をフードバンクに届ける
③ 期限の近い商品を割引で買う
④ 賞味期限を過ぎた食べ物は必ずすぐに捨てる

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 〜を捨てる
2 合計〜になる
3 〜は言うまでもなく
4 責任がある
5 まったく分からない
6 その結果
7 A を B に浪費する
8 〜をちょっと見る
9 〜の経過を追う
10 〜を取っておく
11 〜をただでやる
12 （人・物）を車から降ろす・届ける
13 （〜に）立ち寄る

背景知識 食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられる食べ物のこと。日本の食品ロスは年間数百万トンにのぼり、その約半分が家庭から出ている。原因には、作りすぎ・買いすぎのほか、「賞味期限（おいしく食べられる期限）」と「消費期限（安全に食べられる期限）」の混同がある。2019 年には食品ロス削減推進法が施行された。フードバンクや、期限の近い商品の値引き販売など、捨てずに生かす取り組みが広がっている。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 毎日、まだ十分食べられる食べ物が世界中で**捨てられている**。国連の推計によると、生産された食べ物のおよそ 3 分の 1 が失われたり捨てられたりしている。日本だけでも、まだ食べられたはずの食べ物は年に何百万トンに**もなり**、それを生産するのに使われた水やエネルギーや労働は**言うまでもない**。

2 誰に**責任がある**のだろうか。飲食店やスーパーを責めるのは簡単で、確かにその一部には責任がある。店は、ただ新鮮に見せておくために、商品が傷むずっと前に棚から下げることが多い。しかし日本の食品ロスのおよそ半分は、普通の家庭から出ている。私たちの多くは、必要以上に買い、冷蔵庫に何があるかを忘れ、毎週どれだけ捨てているのか**まったく分かっていない**。

3 よくある原因の一つは、期限についての誤解だ。日本では、「賞味期限」はおいしく食べられる期限を、「消費期限」は安全でなくなるおそれのある期限を示している。多くの人はこの 2 つを同じものと考え、最初の期限が過ぎるとすぐに食べ物を捨ててしまう。**その結果**、決して食べられることのない食べ物に**お金を浪費する**ことになる。

4 もっとうまくやる簡単な方法がある。買い物に行く前に、台所にすでに何があるかを**ちょっと見て**みよう。買ったものを**記録しておく**ためにアプリを使う家庭もある。残り物は翌日の昼食用に**取っておく**ことができる。使い切れない食べ物は近所の人に**あげ**たり、困っている人に届けてくれるフードバンクに**持っていった**りできる。

5 今では、期限が近い商品を割引で売るスーパーもあり、夕方に**立ち寄る**客はお買い得品を手に入れられる。こうした小さな変化も、何百万もの家庭や店で繰り返されれば、本当の違いを生むことができるのだ。

要旨 大量の食べ物が捨てられており、日本ではその約半分が家庭から出ている。期限の誤解などが原因だが、在庫の確認や寄付など、一人一人の小さな工夫で減らすことができる。

解答・解説 ANSWERS

問1 4 **問2 1** **問3 4**

問1 正解 4 根拠は第 2 段落 Yet about half of Japan's food loss comes from ordinary homes。およそ半分が家庭から出ているので 4 が正解。1 は「ほとんどすべてが飲食店」ではなく、店は responsible for some of it（一部に責任がある）とされるだけ。2 は remove products from their shelves long before they go bad（傷むずっと前に下げる）と逆。3 は家庭が半分を占めるという記述に反する。Yet の後に筆者の強調したい点が来ている。

問2 正解 1 根拠は第 3 段落 Many people treat these as the same thing and throw food out as soon as the first date passes。賞味期限と消費期限を同じものと扱い、最初の期限が過ぎるとすぐ捨ててしまうので 1 が正解。2 の体を壊す話、3 の値段、4 の冷蔵庫の大きさはどれも本文にない（冷蔵庫は第 2 段落で中身を忘れる話として出るだけ）。

問3 正解 4 挙げられていないものを選ぶ問題。4 の「賞味期限を過ぎたらすぐ捨てる」は、第 3 段落で食品ロスの原因として批判されている行動そのものなので正解。1 は第 4 段落 have a look at what is already in your kitchen、2 は dropped off at a food bank、3 は第 5 段落 sell items near their dates at a discount とそれぞれ一致する。